

＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ **335** 2012年 **6** 月号
 〔毎月5日発行〕
 〔定価1部20円〕
 発行 東京勤労者医療会東葛病院
 院長 下 正宗
 〒270-0174 千葉県流山市下花輪409
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
 http://www.tokyo-kinikai.com/toukatsu/

入院・外来・通所リハ・訪問リハビリの 充実したスタッフで強い連携

東葛病院 の医療

3000リハビリで機能回復を早める

6月から東葛病院リハビリテーション室では、毎日リハビリテーションを提供できる体制になりました。日曜日は、回復期リハビリ病棟入院中の患者様を中心に実施します。東葛病院リハビリテーション部長・加川豊さんに現状について語っていただきました。

編集部

毎日リハビリを行う意味

病気や怪我によって身体に障がいを持った方が、毎日適切な運動を行うことは、回復への近道と言えます。リハビリ医学では、病気や怪我をした直後から、連続的・集中的にリハビリを行うことは効果が高いと言われています。年齢や症状によりリハビリの質向上にも

つながります。回復期リハビリ病棟の入院期間には90日、180日と、疾患によって制限があります。入院での専門的なリハビリを受けることができる期間が限られている訳ですから、同じ期間により多くのリハビリを実施することは、患者様にとって重要です。



つながります。

回復期リハビリ病棟の入院期間には90日、180日と、疾患によって制限があります。入院での専門的なリハビリを受けることができる期間が限られている訳ですから、同じ期間により多くのリハビリを実施することは、患者様にとって重要です。

の在宅復帰率も80〜90%と高く、機能訓練だけでなく生活を重視したリハビリを実施しています。たとえば、調理動作訓練や、入浴訓練、外出訓練なども行います。このように患者様の退院後の生活を見越した関わりを大切にしています。

また、セラピストだけでなく、病棟スタッフと連携を取りながら、日常生活動作能力の向上に取り組んでいます。毎週定期的にカンファレンスを実施し、患者様一人ひとりの情報をきめ細やかに交換し、在宅に向けての準備を進めます。

また退院前の家庭訪問の実施や、地域のケアマネジャー、在宅スタッフとの連携も積極的に実施しています。患者様やご家族の希望も聴きながら、丁寧な在宅調整を行なっています。

リハビリは安心して入院から在宅まで

東葛病院では、入院での治療からリハビリ、そして在宅復帰まで一貫した関わりを行なっています。そのなかで、多くのセラピストが各分野で専門性を活かし、連携を取りながら仕事をしています。

たとえば、救急車で入院された患者様がリハビリを実施し在宅へ帰るまでを紹介し、最初は、救急の病棟で治療を受け、その後病状が落ち着いたところで回復期リハビリ病棟へ転棟します。その後、リハビリも進み、並行して在宅準備を行います。必要に応じて在宅スタッフと打ち合わせをしながらか退院後の生活を組み立てます。

たとえば、訪問リハビリで退院後のリハビリを継続する方であれば、入院中に訪問担当セラピストへ紹介することも可能です。同じように、外来リハビリや通所リハビリとの連携も行なっており、患者様が安心して退院後のリハビリを継続できるよう心がけています。



退院後の患者様が安心してリハビリを継続できるように訪問リハビリを行っています。

より早く回復し退院へ、 サービスの向上と質の向上も

東葛病院では合計62人のセラピスト（*注1）が入院・外来・通所・訪問の各分野で幅広く活動しています。回復期リハビリ病棟

リハビリは安心して入院から在宅まで

東葛病院では、入院での治療からリハビリ、そして在宅復帰まで一貫した関わりを行なっています。そのなかで、多くのセラピストが各分野で専門性を活かし、連携を取りながら仕事をしています。

たとえば、救急車で入院された患者様がリハビリを実施し在宅へ帰るまでを紹介し、最初は、救急の病棟で治療を受け、その後病状が落ち着いたところで回復期リハビリ病棟へ転棟します。その後、リハビリも進み、並行して在宅準備を行います。必要に応じて在宅スタッフと打ち合わせをしながらか退院後の生活を組み立てます。

たとえば、訪問リハビリで退院後のリハビリを継続する方であれば、入院中に訪問担当セラピストへ紹介することも可能です。同じように、外来リハビリや通所リハビリとの連携も行なっており、患者様が安心して退院後のリハビリを継続できるよう心がけています。

また、外部との連携の強化も進んでいます。松戸市立病院や千葉西総合病院などと連携を取って、脳卒中の患者様を診る仕組みを取り始めます。これにより、地域の患者様が、市外の救急病院で治療を受けた後、東葛病院へ戻って、リハビリから在宅復帰へつなげられるようになります。(*3)

※1 セラピスト…セラピスト（治療、療法）を行う人の意味で、従来は「療法士」「治療士」などと訳されていましたが、最近では「セラピスト」とそのまま使われることが多いです。

※2 ケアミックス病院…1つの病院が急性期医療と慢性期医療、あるいは介護療養型の機能を併せ持つ病院のこと。

※3 脳卒中地域連携バス…脳卒中の地域連携クリティカルパスのことで、急性期の次は慢性期の病院（リハビリ病院）そこで回復しない場合は老人保健施設、自宅療養それぞれの施設関係者が寄り集まって患者の現状や今後の対応などについて、情報を共有することでスムーズに患者の移動をしようとするものです。

■お詫びと訂正
 5月号の記事内容で誤りがありました。お詫びと訂正をいたします。
 ①1面の伊東繁副院長は、元副院長でした。②1面のアナフラキシシーは、アナフラキシーでした。

聴診器

▼「へ固き土を破りて、民族の怒りに、燃える島沖繩よ」40年前、この歌を叫びながら沖縄県民、労働者、オジー、オバーのデモ行進を少女の頃、家の前でよく見ていました▼アメリカ兵による6歳少女拉致暴行殺人、B29米軍機墜落（嘉手納基地）、ベトナム出撃。念願の復帰が叶い、ドルから円へ、右側通行から左側通行へ…。今年復帰四十年、「核も基地もない沖縄を」の願いに反し、今も在日米軍基地の七割、33もの基地が居座って異常な基地集中が続きます

▼先日、映画「一枚のはがき」を観ました。家族を戦争に送り出し、残された人達の深い心の傷跡が、生き残って帰ってきた兵隊を通して事実を描いています。鬼畜米英といつて戦争をし、安保といて米国いいなり、県民、国民の命や生活を脅かしている▼TPPや、原発政策の押しつけなども、すべて安保条約「経済政策のくい違いを除くこと」に努める「条約の履行。最近の沖縄地元紙などの調査では、安保条約への否定は七割強に上ります。普天間基地の早期・無条件返還！そして基地のない平和な沖縄を望みます。(吉)

介護の現場から

増加傾向の在宅療養
わかくさ訪問看護ステーションは介護保険(カテーテル挿入・経栄養など)を利用して、乳幼児や精神疾患の方、また難病の方などさまざまな患者様の訪問をさせていただいています。

医療依存度高い方の在宅生活を安心して過ごしていただくためには、医師や看護師など医療ニーズへの対応や社会保障制度の活用など、ケアマネやリハビリ、市の担当者との連携が必要です。そのためわかくさ訪問看護ス

わかくさ訪問看護ステーション (我孫子)

利用者のニーズに365日 24時間対応の体制で

所長 多田洋子 (看護師)

平成24年度の改正により地域包括ケアが掲げられ、医療も介護サービスが24時間365日対応できるよう整備が進められています。訪問看護も訪問時間やリハビリの時間が短縮

看護師不足もあり、地域によって訪問看護ステーション事業所の数や看護師の体制が厳しい所もあります。24時間365日、常に対応可能な体制をとり、患者様やご家族が安心して生活できるようにしています。

看護師不足のなかで

高齢者が増加傾向にあり、介護施設不足により医療依存度が高い高齢者が在宅で過ごす方も増加するなか、看護師の確保と育成が急務となっています。

介護保険料が増え、介護サービスが制限されたなかで患者や介護者のニーズにどのよう

「美女と野獣」のお話は、野獣に囚われた末娘が、その求婚に答應すると野獣は本来の姿に戻るといふ結末です。このフランス民話に、そのままの野獣を愛したから、ありのままの人間の自分に戻れた、という教訓が受け取れます。

そのままの野獣を愛す。ありのままに人を受け止める。人を信じ

クスリあ・れ・こ・れ

隔月掲載

「薬物依存の父はいつも家を留守にしておく」を私たちは、持っているのです。

薬物依存も構造的に同じです。シンナーや覚せい剤、薬物依存者は増えつづけています。年間800人前後

「薬物依存の父はいつも家を留守にしておく」を私たちは、持っているのです。

「JWH-018」「カンナビシクロヘキサノール」「MDPV」「4-メチルメトカチノン」は、薬事法の指定薬物として麻薬に指定されるようになりま



薬物依存

社会の中で作られる病的依存

診療技術部 部長 藤井基博

合法性を問わず、自分の意思ではやめられない薬物依存は、社会のなかで作られる病気という側面もありま

シリーズ 地域の願いに応える新病院建設

東葛病院・建設委員会報告

設計議論の進捗と

今後のすすめ方

建設委員会事務局次長・坂巻道彦
東葛病院施設課

4グループで ワークシヨップ

現在、建設委員会では先月にもお話しした四つのグループ(病棟、外来、中央診療部、その他)を中心に議論をしています。たとえば、病棟グループでは病院の根幹と

外来グループでは新病院での外来各診療科や、対応する関係部署の配置と規模などの議論、そして付属診療所

なご、利用者、患者様の声を反映していくために、東葛健康友の会には、その他のグループに入ってもらい、



建設予定地の現地調査をする筆者(向かって左端)

建設委員会に参加して合っています。中央診療部では検査や放射線、薬局、リハビリ、友の会からは、事務所を

者が気軽に立ち寄れるスペースの確保を希望しています。最初に、各部門の配置や規模を決める際に

ブロックプランを元に図面作成

今後は、出し合った要望を予算の範囲の中に

図面の完成まで、まだまだ道のりは遠いのですが、皆様の期待を反映できるように建設を進めていきます。

地域協同基金・寄付金・特定協力借入金

(無利息・無期限) (年利1.5%・期間5年)

みなさまのご協力をお願いします

応募方法 申込用紙は、東京勤医会の各事業所窓口にて用意してあります。

先月はホルター心電図という検査の説明・どんな時に使うのか?などを紹介しました。

今回は検査機器を体に取り付けた後の流れ・異常があった場合どうなるのか?について紹介いたします。

ホルター心電図②



ホルター心電図計測器

この検査は約24時間心電計を体に装着していただきま

けんさ⑦

検査によって不整脈と診断されたら、それに対する予防治療が大切です。不整脈にはすぐに治療しなければなら

激しい運動などを一日我慢していたく以外は普段通りに生活してください。お好きな嗜好品やお食事を摂っていたいで構いません。

けんさ⑧

装着の際『行動記録メモ』と一緒に渡します。『行動記録メモ』とはその名前通り

臨床検査技師 石原元太

東葛病院・付属診療所の医療活動

2012年4月分

付属診療所1日平均外来患者数	824人	
1日平均救急・夜間外来患者数	51人	
1日平均入院患者数	303人	
手術件数	107件	
主な検査	血管造影	34件
	内視鏡	371件
	CT	868件
	MRI	311件
	心電図	1589件
	腹部エコー	302件
心エコー	272件	
救急患者数	1517件	
内 救急車搬入件数	200件	



写真が講演者の大久保彰氏。医師と職員有志による寸劇

職員41人が参加し、2人の議員にお願いを行い、日本共産党の市田忠義・田村智子参院議員の2人が

青年国会行動研修とら341人の青年職員は、東京民医連の各法らが参加しました。今回は「社会保障の心となり、患者様や現場で働く職員の声を直接国会に届けるもの」を議員に手渡し、署名の紹介議員となつていただくよう請願を行います。

当日は晴天に恵まれ、東京民医連全体から

東京民医連実行委員長・東葛病院実行委員長 長井海雄（医事課）

第14回青年国会行動研修

患者様や職員の声を 直接国会議員に届ける

紹介議員を引き受けてくれました。自分の言葉で議員に

自分たちの声が 社会を変える力へ

西岡大輔（研修医）

私たちは新入職員一同はこの研修に際し、多



くこの学習を行いました。その学習の成果と疑問を国会議員に直接投げかけることができ

自ら行動に移す

下山明日香（医事課）

政治は難しいと敬遠するものではなく、身近なものであること。



「政治に無関心とは、患者さんの命に無関心」という言葉を重く受け止め、今回の研修をきっかけとして、今後の活動に生かしていきたいです。

考えるきっかけ

速水直子（わかば薬局・薬剤師）

国会研修に参加し、医療と社会保障をきちんと考えるきっかけに



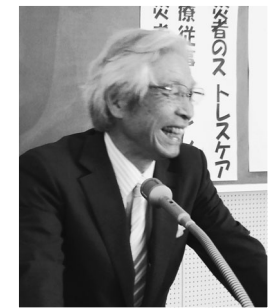
になりました。孤独死や餓死などが相次ぐなか、私たちの班は生活保護について調べ、生活保護は本当に必要としている人たちが利用できるように作られていないという結論になりました。今後は医療のことだけでなく、政治にも目を向けることのできる医療人になりたいと思います。

脱原発 5月12日中澤医師講演

原発問題は直接民主主義として 首都圏在住者が行動を起こすとき

5月12日午後、中澤正夫医師の講演「いま訴えたいこと」を東葛看護学校で行いました。東葛看護学生や東大など大学生、地域住民や職員56人が参加。東葛看護学の生田知歩専任講師の司会で、戸倉直実医師・被ばく医療委員会委員長が開会あいさつしました。

中澤正夫医師は、現地福島に6回足を運んで直接支援を行い、昼間は被災状況を見て、



講演する中澤正夫医師

「敵は国か東京電力か？ カギは首都圏の住民がカギを握っている！ その責任を問いたい」との訴えを紹介しました。

感想には「1年経ったが被災地の自分が知らないことがたくさんあると痛感した。自分ができることはないか考えさせられ、私たちが伝えていく必要も実感した」など気づきと決意が出されました。

したことを語りました。

また、今年4月に福島大学での研究・交流集会「原発と人権」に参加し、とくに飯館村村長と大熊町町長の訴えが強烈で、実行委員長の「敵は国か東京電力か？ カギは首都圏の住民がカギを握っている！ その責任を問いたい」との訴えを紹介しました。

最後に原発ゼロへの方針と条件について、「原発問題は直接民主主義のよき訓練の場あり、大いに個人の意見を出し他人の意見に傾けよう」と結びました。

中澤医師は今考えていること、原発被害とは何か、村も家も家族も切り裂いたことなど話しました。

クロスワードパズルの解答

前回 (No.334) の解答
ヒカルウミトワカバ
(光る海と若葉)
※当選者の方には粗品発送をもって発表に代えさせていただきます。

第56回柏地区メーデー

750人で 柏繁華街をデモ行進
東葛病院から191人が参加



柏市の繁華街をデモ行進

5月1日 柏公園で

和ゴム労組からは、横暴な投資ファンドの撤退を求め、本業のゴム事業で経営の建て直しを計る決意が語られました。

柏市繁華街を750人の隊列で「首切りの自由化を許すな！」「大幅賃上げを勝ち取るう！」「社会保障と税の一体改悪を許すな

第56回柏地区メーデーが開かれまし

会場には東葛病院から191人が参加。東葛看護学フランクフルトをほお張り、熊谷健康友の会副会長の二枚のハガキ上映案内、森上労働委員長の看護師増員署名の訴え、昭

ナースウェーブ・看護の日行動

東葛病院から25人参加
1000筆を超える署名が集まる



署名に応じる親子と新人看護師

5月19日、新宿駅頭でナースウェーブが開かれまし

東葛病院からは今年入職の看護師を中心に25人が、駅頭にはディスプレイボードに向う若者たちや、赤ちゃんをおぶった若い母親が、看護師の過酷な労働実態に看護師増員の署名に快く応じてくれました。

全体で270人が参加し、1時間で1000筆を超える署名が集まりました。

新人看護師の石田しおりさんは「大勢での署名行動は楽しかった」と語っていました。

友の会主催の健康相談会の 予定は下記の通りです

月日	時間	場所	テーマ
7月2日(月)	15:30~17:00	江戸川台福祉会館	腰痛の予防と対策

ダンス舞ライブ
男性会員募集中！
レッスン 6月 (木曜日)
7日 (北部公民館) 15:00-17:00
14日 (初石公民館) 15:00-17:00
21日 (江戸川台福祉会館) 13:00-15:00
28日 (江戸川台福祉会館) 13:00-15:00

合唱団・フレンズ
レッスン 6月 (金曜日)
1日 14:00~16:00 東葛看護学校4F 体育館
22日 14:00~16:00 東葛看護学校4F 体育館

俳句の会「季楽会」
定例会
6月9日(木) 7階大会議室 10:00~12:00
7月7日(木) 7階大会議室 10:00~12:00

囲碁・将棋 手談の会
例会
6月16日(木) 7階会議室 13:30~16:30
7月21日(木) 7階会議室 13:30~16:30

星をみる会「星めぐり」
例会
(偶数月第2水曜日)
6月13日(水) 7階会議室 18:00~
-季節の星座- (参加費・年間500円)

うたごえの集い
日時
6月20日 13:30~16:00
7月25日 13:30~16:00
会場 十大夫福祉会館集い室
参加費 300円(飲み物付)

絵手紙教室
例会
(偶数月第2水曜日)
6月14日(水) 10:00~12:00
会場 7階大会議室
参加費 500円